

HIV感染症の医療体制の整備に関する研究班 中国四国ブロックのHIV医療体制整備

広島大学病院 輸血部/エイズ医療対策室
藤井輝久

厚労省エイズ対策研究事業

- 19事業, 総額5億4300万円
- HIV感染症の医療体制の整備に関する研究(1億2200万円)
- 研究代表者: 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センターの横幕能行先生
- 今年度の全体の課題として...
 - 高齢化に伴う対応(地域の非専門施設・介護施設との協働)
 - HCV重複感染
 - CKDに伴う透析
 - 歯科診療
 - 若手の医療・看護者の育成

今年度の計画

1. 長期療養施設や介護施設, 障害者就労支援施設での研修を計画

- 1) 出張研修→今後HP等でアナウンス
- 2) 例年県と課題克服班(白阪班)との共同で行っている研修会を今年も計画

2. 開業医・クリニック向け研修を計画

- 1) 広島市医師会での研修会(毎年4月に行っている)
- 2) 10月28日に県医師会主催のエイズ研修会を予定

3. HPのアプリケーション化

コンテンツとして,

- 1) 風邪など他院受診した際処方された薬に対するQ&A
- 2) 自立支援医療の申請, 更新に関するQ&A
- 3) 服薬支援コンテンツ →アラーム機能やメールによるお知らせ機能
- 4) 受診支援コンテンツ →メールによるお知らせ機能
- 5) 主治医の休診情報 など

昨年度作成した小冊子を研修会に活用していく

これなら大丈夫！HIV感染症プライマリケア診療ガイド

～非専門小規模病院，開業医のためのHIV診療ガイド～

「早期発見して専門病院へ紹介」のみならず，「落ち着いた患者」の日常診療の対応とケアを行うための非専門医向け小冊子。かかりつけ医への知識普及と患者さんの受け入れ促進を目指す。



知らないままでもいいの？ケツユウビョウのあれこれ

～血友病患者を非専門小規模病院，社会福祉施設で
受け入れてもらうための小冊子～

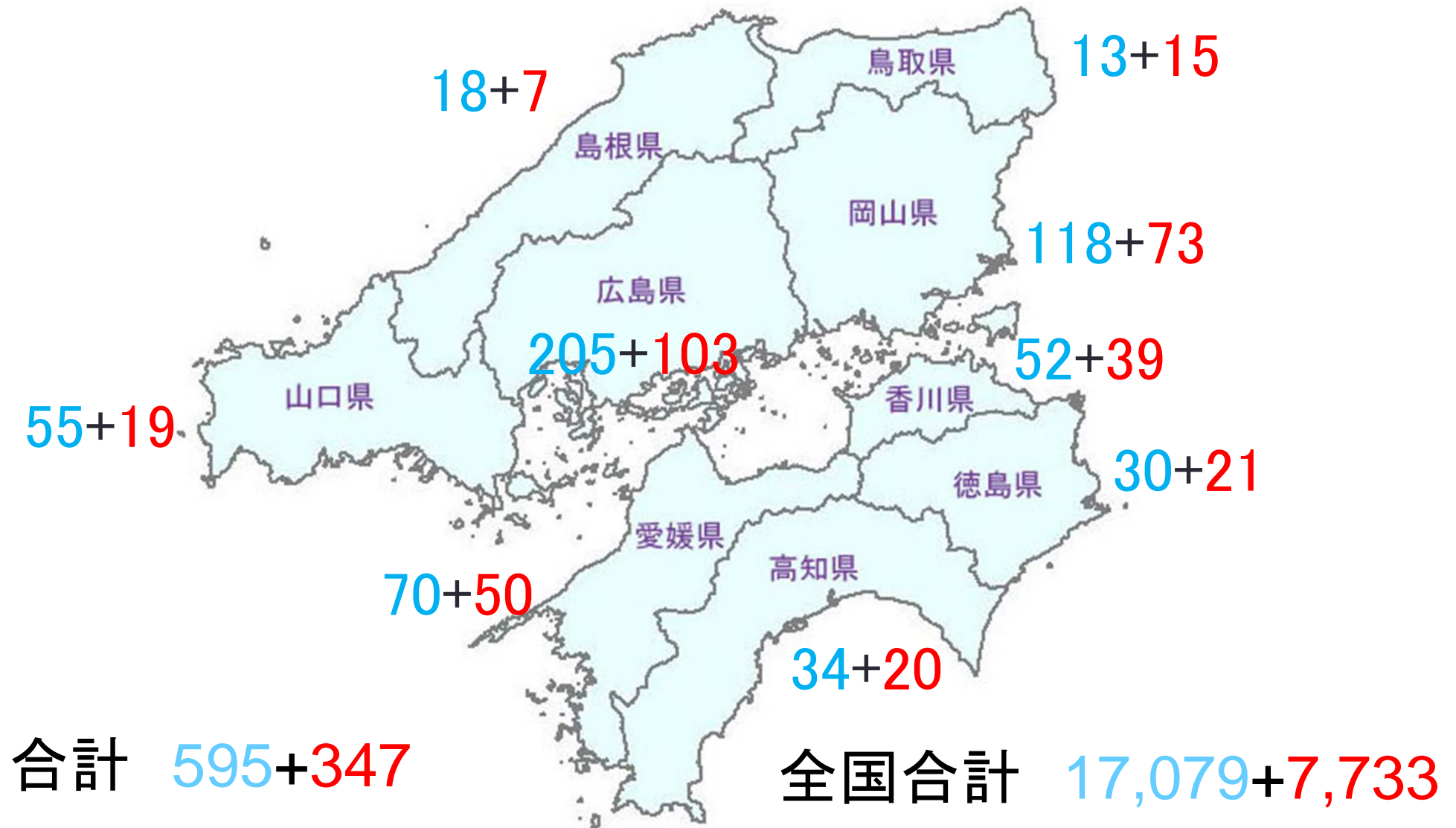
HIVでなく，血友病（出血管理など）で受け入れ困難となる
ケースもある。血友病患者さんの長期療養受け入れ促進を
目指す。



他職種研修会

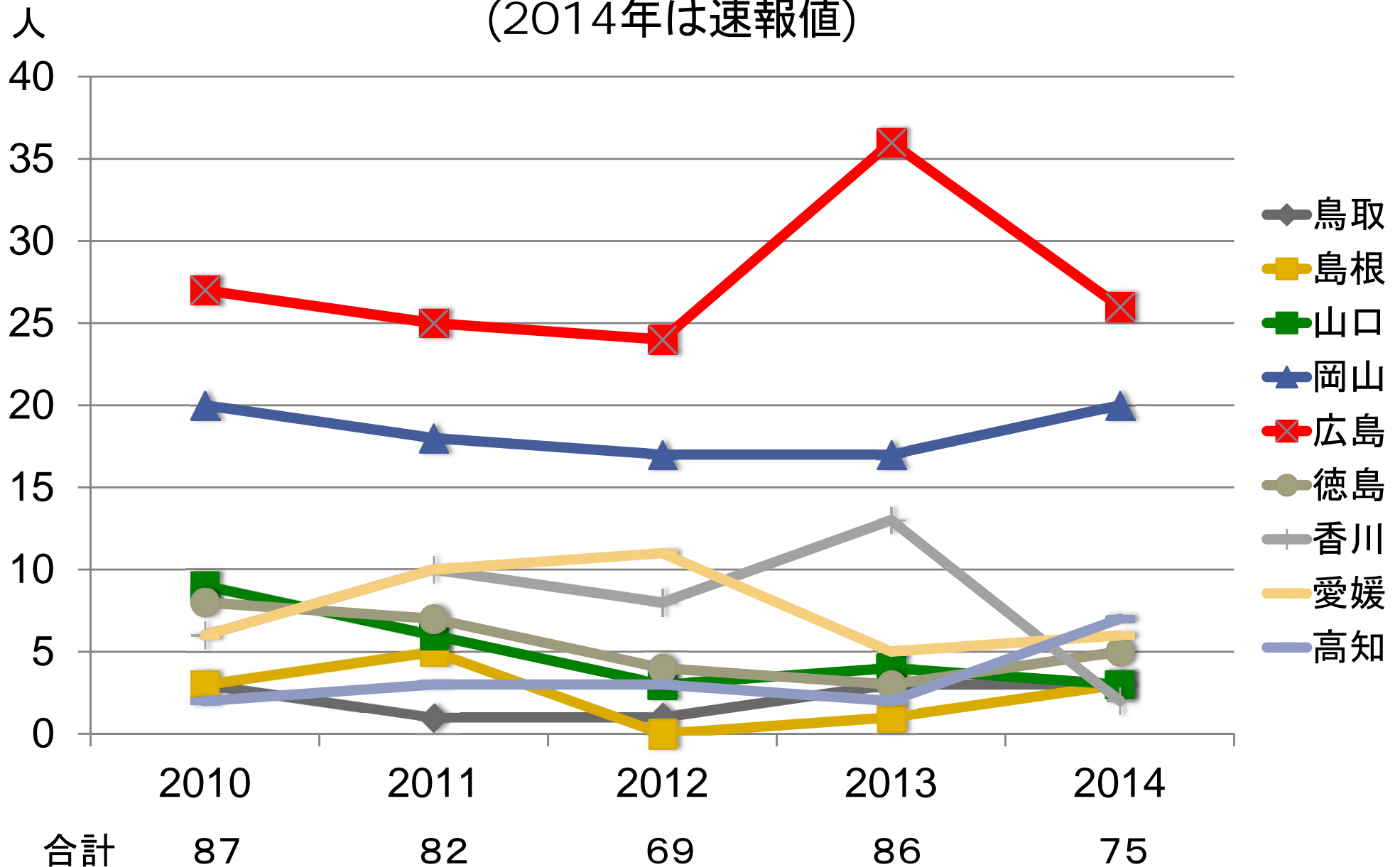
職種	日付	参加者数
医師 (拠点病院、非専門病院勤務者向け)	平成27年7月19日(日)	10
薬剤師 (拠点病院勤務者向け)	平成27年8月1日(土)・2日(日)	38
看護師 (拠点病院勤務者対象)	平成27年8月19日(水)・20日(木) &9月16日(水)・17日(木) 初心者向けコース	15&14
	平成27年1月10日(土)アドバンス・コース	未定
看護師(在宅・療養・緩和ケア対象)	平成27年11月21日(土) 尾道市で開催	未定
心理職(初心者向け)	平成27年6月27日(土)	19
心理職・福祉職合同 (上級者向け, 拠点病院勤務または派遣カウンセラー対象)	平成27年8月1日(土)・2日(日) & 平成28年1月16日(土)・17日(日)	10 & 未定
福祉職(初心者向け)	平成27年10月24日(土)・25日(日)	未定
全職種(中核拠点病院スタッフ対象) 2015/08/21	平成28年2月20日(土)・21日(日)福山市で開催	未定

中四国地方のHIV/AIDS患者累積数(2015年3月末日時点)



近5年のHIV/AIDS新規患者報告数

(2014年は速報値)



合計
2015/08/21

2013・14年報告上位の自治体

表 新規HIV感染者・AIDS患者報告数 上位10位の自治体

自治体		報告数	自治体		人口10万対
1	東京都	363	1	東京都	2.729
2	大阪府	172	2	大阪府	1.944
3	神奈川県	89	3	沖縄県	1.060
4	愛知県	65	4	神奈川県	0.980
5	福岡県	46	5	香川県	0.914
6	千葉県	42	6	福岡県	0.904
7	兵庫県	32	7	愛知県	0.873
8	埼玉県	30	8	佐賀県	0.833
9	北海道	23	9	岡山県	0.829
10	広島県	21	10	広島県	0.739

b AIDS患者上位自治体

自治体		報告数	自治体		人口10万対
1	東京都	110	1	東京都	0.827
2	大阪府	54	2	大阪府	0.610
3	愛知県	33	3	沖縄県	0.565
4	千葉県	30	4	広島県	0.528
5	神奈川県	30	5	滋賀県	0.494
6	兵庫県	21	6	千葉県	0.484
7	静岡県	16	7	栃木県	0.453
8	福岡県	16	8	愛知県	0.443
9	広島県	15	9	岐阜県	0.439
10	北海道	14	10	石川県	0.431

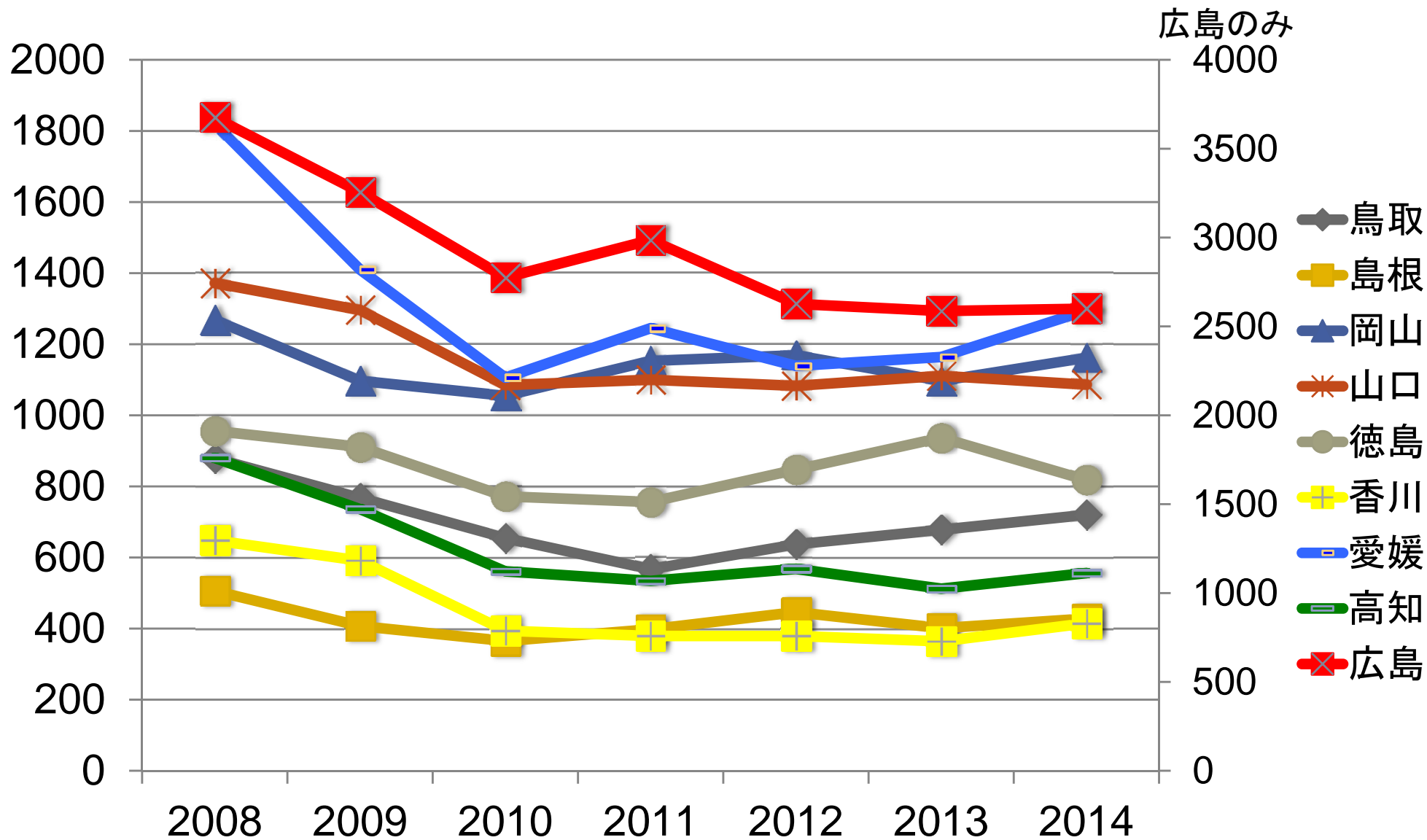
a HIV感染者上位自治体

自治体		報告数	自治体		人口10万対
1	東京都	410	1	東京都	3.083
2	大阪府	156	2	大阪府	1.763
3	神奈川県	68	3	沖縄県	1.625
4	愛知県	67	4	福岡県	0.904
5	福岡県	46	5	愛知県	0.900
6	千葉県	36	6	石川県	0.777
7	埼玉県	24	7	大分県	0.764
8	兵庫県	23	8	神奈川県	0.749
9	沖縄県	23	9	宮崎県	0.714
10	北海道	19	10	群馬県	0.706

b AIDS患者上位自治体

自治体		報告数	自治体		人口10万対
1	東京都	96	1	沖縄県	0.848
2	大阪府	53	2	福井県	0.755
3	愛知県	32	3	東京都	0.722
4	神奈川県	29	4	大阪府	0.599
5	福岡県	24	5	岐阜県	0.536
6	埼玉県	23	6	鳥取県	0.519
7	千葉県	21	7	栃木県	0.504
8	沖縄県	12	8	福岡県	0.472
9	茨城県	11	9	宮崎県	0.446
10	岐阜県	11	10	奈良県	0.434
10	兵庫県	11			

保健所等における検査件数



2014年この地域は減ったのか？

感染者の新規報告例は頭打ちであるが、エイズ期(患者として)の新規報告例は減っていない。

HIV感染者報告数・対人口比率は、東京都以外は減少

エイズ患者報告数・対人口比率は、都市部で減少し、地方で増加。

都市部では早期発見がされているが、地方ではエイズ発病で初めて診断されるケースが増えている。



医師の意識の低下？ or 高齢化の影響？

都市部では「いきなりエイズ」は少ない？

新規報告件数に占める地域別AIDS患者の割合

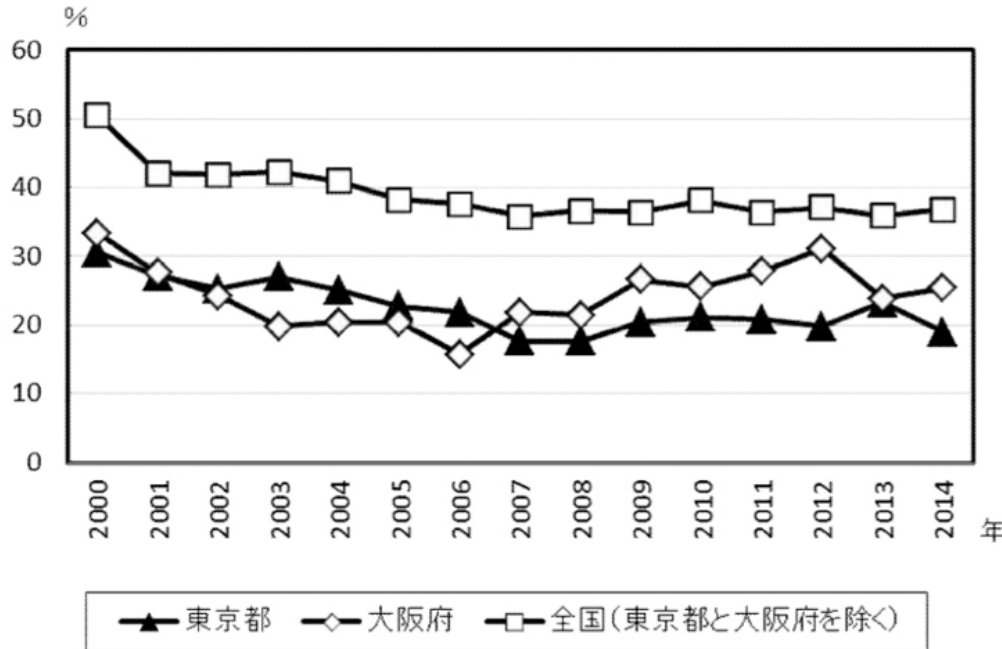
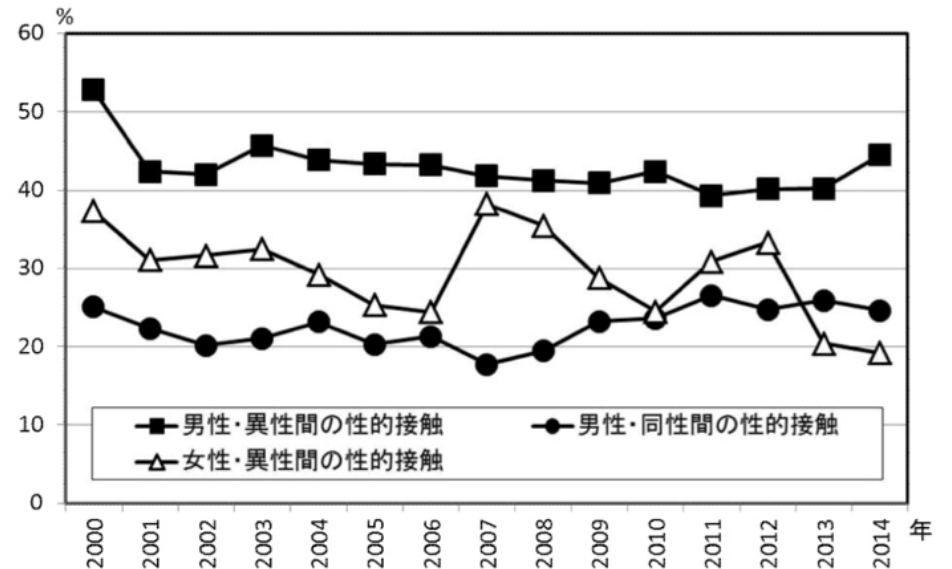


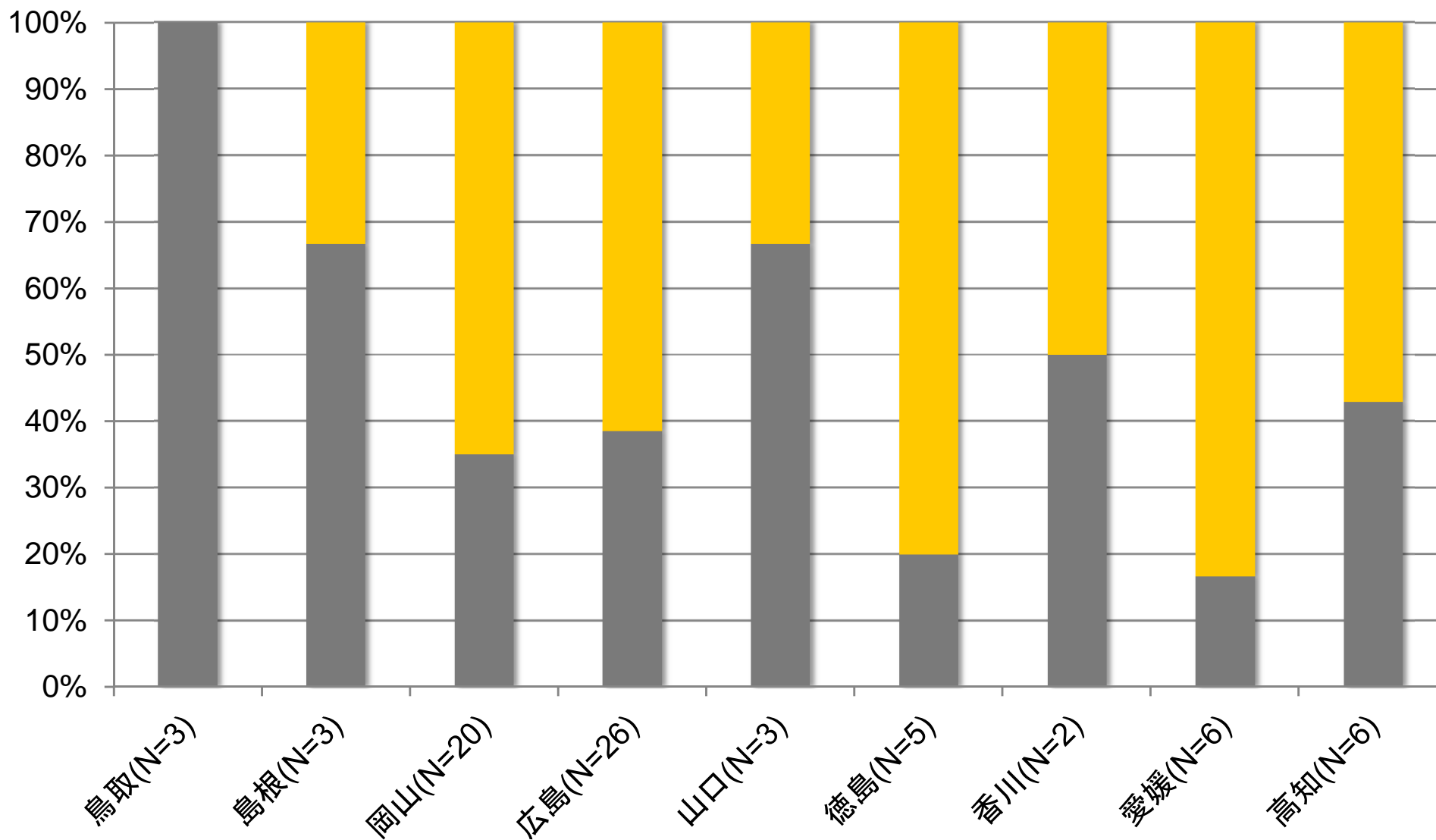
図 15. 新規報告件数に占める AIDS 患者の割合の感染経路年次推移



- 東京・大阪以外では平均40%が「いきなりエイズ」
- 男性・異性間感染で、「いきなりエイズ率が高い」
 - HIVは、ゲイに蔓延している,との思い込み...
 - 受検行動しない中高年男性...
 - 地方で進む高齢化...

2014年の新規報告例におけるHIV/AIDSの比率

■ AIDS ■ HIV



2015/08/21

平均 40%